

2023（令和5）年度

京都大学大学院教育学研究科
修士課程
（教育実践指導者養成プログラム）
入学試験問題

※出願者のなかったコース（分野）に対応する専門科目は、筆記試験が実施されなかったため掲載していません。

2023年度

京都大学大学院教育学研究科
(教育実践指導者養成プログラム)

入学試験問題

外国語

英	語
---	---

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
2. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
提出する解答用紙は2枚である。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆に
して続きを書くこと。
3. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

英 語

I. 次の文章の下線部を和訳しなさい。(50点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Michael J. Sandel, *The Tyranny of Merit: What's Become of the Common Good?*, Penguin Books, 2021 の3頁1行目~4頁15行目を引用した。

なお、下線部は、4頁6行目の「Morally, the pandemic」から始まり4頁15行目「white Americans.」までの文を指す。

(次頁へ続く)

【問題文】

(問題文略—問題用紙1頁目の後掲〈注意〉を参照のこと)

II. 次の文章は、筆者の祖父の遺品に含まれていた曾祖父の3つ目の勲章をめぐって考えたことについて書かれたものである。この文章を読み、下線部(1)と(2)をすべて和訳しなさい。(1)については、和訳した上で、筆者の言う the conflicted emotions の内容はどのようなものかも説明しなさい。なお、各解答の最初に(1)、(2)の番号を記入すること。(50点:(1)20点、(2)30点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Roger Frie.(2017),*Not in My Family*,Oxford University Press.の140頁23行目~142頁14行目を引用した。

なお、下線部(1)は、141頁19行目の「My grandfather's」から「I felt.」までの文を、下線部(2)は、142頁5行目の「Without asking」から「private family memory.」まで3つの文を指す。

(次頁へ続く)

【問題文】

(問題文略—問題用紙3頁目の後掲<注意>を参照のこと)

(次頁へ続く)

【問題文】

(問題文略—問題用紙3頁目の後掲<注意>を参照のこと)

2023年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

①教育哲学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

①教育哲学

次の3つの問題から2つを選び、解答しなさい。(50点×2)

I. 道徳教育は人間の人格の形成にとって要であると言われるが、他方で道徳教育は特定の倫理的立場の強要であるとする批判もある。道徳教育はどのように考えられることが求められるか論じなさい。

II. 人間の生の非連続的体験は、人間形成にどのようなものをもたらすか具体例をあげながら論じなさい。

III. 子ども、また大人が吐露する「生まれてこないほうがよかった」という反出生主義的言説に、教育はどのように応答することができるか論じなさい。

2023年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

②教育史学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

②教育史学

問題 I

資料1から資料3は「教育の政治化（問題）論争」とよばれる論争の一部である。これを読んで以下の問いに答えなさい。なお、解答にあたっては、必ず小問の番号を最初に記すこと。（60点）

- (1) 資料1 傍線部①「児童の村小学校」とは、どのような特徴をもつ学校だったのか、資料の内容との関連に注意しながら説明しなさい。（10点）
- (2) 資料2 傍線部②「教育の政治化」は上田唯郎においてどのような意味で考えられているのか。要旨をまとめなさい。（15点）
- (3) 資料3 傍線部③「教育の政治化」は野村芳兵衛においてどのような意味で考えられているのか。要旨をまとめなさい。（15点）
- (4) この論争は教育をめぐるどのような課題を示しているのか。野村芳兵衛、上田唯郎それぞれの見解の妥当性についての解釈を含めて、あなたの考えを記しなさい。（20点）

【資料1】

(資料略一後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

資料は、野村芳兵衛「啓明会第二次宣言に対する僕の態度」『教育時論』第1532号、1928年1月5日を引用した。

なお、傍線部①は、「啓明第二次宣言に対する僕の態度」の著者の肩書きにおける「児童の村学校」を指す。

【資料2】

(資料略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

資料は、上田唯郎「教育の政治化を論じて—野村氏の蒙をひらく—」『教育時論』第1536号、1928年2月15日を引用した。

なお、傍線部②は、「教育の政治化を論じて—野村氏の蒙をひらく—」における、題名の「教育の政治化」を指す。

【資料3】

(資料略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

資料は、野村芳兵衛「議論の要点に帰れ—上田君への抗議—」『教育時論』第1538号、1928年3月5日を引用した。

なお、傍線部③は、「議論の要点に帰れ—上田君への抗議—」における、最下段終わりから3行目の「教育の政治化」を指す。

問題Ⅱ

次の①～⑩の事項の中から4つを選び、それぞれについて説明しなさい。なお解答にあたって、選択した事項の番号を必ず最初に記すこと。(40点)

- | | |
|------------|-------------|
| ① 経典余師 | ② 女紅場 |
| ③ 師範学校 | ④ 台湾教育令 |
| ⑤ 教育と宗教の衝突 | ⑥ アメリカ教育使節団 |
| ⑦ 軍国美談 | ⑧ 手島堵庵 |
| ⑨ 天皇機関説事件 | ⑩ 会読 |

2023年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

③教育方法学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

③教育方法学

次の3問に解答しなさい。

I. 教育におけるICT活用の意義と課題について論じなさい(30点)。

II. 教科の学びと「総合的な学習(探究)の時間」の学びの関係について論じなさい。(30点)。

III. 次の用語について説明しなさい(40点)。

- (1) 課題提起型教育
- (2) 教科内容の現代化
- (3) オルタナティブ教育
- (4) ルーブリック

2023年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

④発達科学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆に
して続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

④発達科学

I. 次の用語について説明しなさい (60点)。

- (1) 刷り込み (imprinting)
- (2) 前成説 (preformationism)
- (3) エピジェネティクス (epigenetics)
- (4) 視覚的断崖 (visual cliff)
- (5) 社会脳 (social brain)
- (6) 前向き研究と後ろ向き研究 (prospective and retrospective study)

II. 子 (仔) を育てるために必要となる脳および心的機能 (親性) の発達や、その生物学的基盤に関する研究を行うとする。
以下の問いに答えなさい (40点)。

- (1) この研究を行うにあたり、自身が関心をもつテーマを記述し、考えられる仮説およびその仮説を導き出した根拠を述べなさい。
- (2) (1)で挙げた仮説を検証するための研究計画を具体的に記述しなさい。

2023年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑤教育人間学・臨床教育学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆に
して続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑤教育人間学・臨床教育学

次の2問に解答しなさい。

(解答は日本語、英語いずれも可とする。)

(それぞれ50点)

- I. 世界的なパンデミックや気候変動などの現代的な問題に関して、多くの人々がその解決策を科学に求めています。科学研究と思想研究の関係について論じなさい。
- II. 世界の諸問題の解決のために学問の務めが問い直される今日、(i) 大学およびアカデミズムと、(ii) 大学外およびアカデミズム外との異分野・異業種間的な関係を築くことについて、臨床教育学・教育人間学の視座から考えを述べなさい。

2023年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑥教育認知心理学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑥教育認知心理学

3つの問題 (I, II, III) のすべてに解答すること。特に指示がある場合を除いて、日本語または英語のいずれの言語によって解答してもよい。

I. 人間は社会的な生物であるがゆえに、社会的な集団を形成し、社会的な関係を構築することなしには生きることは難しい。実際、良好な対人関係を形成できている個人は、そうではない個人と比較すると、自分の内外にある様々な心理社会的資源（内的資源・外的資源）を利用することによって、心身ともに健康に過ごすことができるという知見も数多く見受けられる。これらを踏まえて以下の問いに答えなさい。((1), (2) 各10点, (3) 20点, 計40点)

(1) このような場合の、内的資源・外的資源として、どのようなものが考えられるかを説明し、それらが果たす機能について複数の観点から具体的に記述しなさい。

(2) 内的資源・外的資源の存在は、上記の通り、人間の社会適応を維持・促進することもあるれば、一方では不適応を導くこともある。この両面性について、具体的な例を挙げながら、それぞれの心理学的機序について説明しなさい。

(3) (2) で記述したことを実際に検証するための心理学の実験や調査をデザインし、その方法や予想される結果について説明しなさい。

II. 以下の英文を読んで、次の問題に答えなさい。(各10点, 計30点)

(1) 下線①の一文「The latter requires much more stringent testing.」について、なぜこのように述べられているのか、その理由を具体的に説明しなさい。

(2) 下線②にある「the implications」とはどのような内容なのか、具体的に説明しなさい。

(3) この英文の最後の段落には、著者からのメッセージが要約されている。その内容について、(1)、(2)では取り上げられなかった例を含めて、具体的に説明しなさい。

なお、英文は、このページを含め、3ページにわたって印刷されているので注意すること。

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Bishop,D.V.M.(2020).How scientists can stop fooling

themselves.*Nature*,584,9 9頁左段16行目~9頁右段52行目を引用した。

なお、下線①の「The letter requires much more stringent testing.」は、9頁右段28行目~29行目、下線②の「the implications」は、9頁右段34行目の

「A30-minute session」から始まり9頁35行目「the implications.」までの文を指す。

【問題文】

(問題文略—問題用紙2頁目の後掲〈注意〉を参照のこと)

【問題文】

(問題文略—問題用紙2頁目の後掲<注意>を参照のこと)

III. 心理学で用いられる次の用語について、その意味を簡潔に説明しなさい。
(各3点, 計30点)

- (1) confidence interval
- (2) dementia
- (3) insula
- (4) reinforcement
- (5) schema
- (6) 2 要因混合計画
- (7) 係留と調整のヒューリスティック
- (8) 社会的学習
- (9) 知覚的流暢性
- (10) 副交感神経系

2023年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑦臨床心理学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑦臨床心理学

- I. 次の頁にある文章は、カウンセラーの態度について述べたものです。この文章を読み、2カ所の下線部について以下の問いに答えなさい。なお、それぞれの解答の最初に、(1) (2) の番号を記入すること。

(30点：各15点)

- (1) このような現象を力動的・分析的な心理療法では何と呼びますか。また、そのようなことを避けるため、カウンセラーはクライアントとの関係においてどのようなことを意識しなければならないでしょうか。カウンセリングと宗教の違いも意識しつつ、具体的に記述しなさい。
- (2) 「話し手自らが洞察を得る」ことを可能にする、カウンセラーの基本的な態度とはどのようなものでしょうか。また、「相手の心を映す鏡になる」とはどのようなことなのでしょう。カウンセリングの実際場面を想定しつつ、双方とも具体的に記述しなさい。

【問題文】

(問題文略一後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、東山紘久『プロカウンセラーの聞く技術』創元社、2000年、58頁2行目～59頁2行目を引用した。

なお、下線部(1)は58頁5行目「カウンセラー」から58頁7行目「解決です。」までの1つの文であり、下線部(2)は58頁14行目「カウンセラー」から59頁1行目「訓練されます。」までの1つの文を指す。

II. 抑うつ (depression) について、次の3つの発達段階において、どのように現れると考えるか、あなたの知るところを述べなさい。その際に、それらの理解のための心理アセスメントに必要なことも合わせて論じなさい。なお、それぞれの解答の最初に、(1)～(3)の番号を記入すること。

(30点：各10点)

- (1) 児童期
- (2) 青年期
- (3) 老年期

III. 次の用語・人名について、臨床心理学の観点から説明しなさい。
なお、それぞれの解答の最初に、(1)～(10)の番号を記入すること。

(40点：各4点)

- (1) 再接近期
- (2) Searles, H.F.
- (3) アニマ・アニムス
- (4) テストバッテリー
- (5) dissociative disorder
- (6) 内観療法
- (7) Bleuler, E.
- (8) コース立方体組み合わせテスト
- (9) counter transference
- (10) 中井久夫

2023年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑧教育社会学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑧教育社会学

以下の4問(I、II、III、IV)から2問(※ I、IIという組み合わせか、III、IVという組み合わせか、どちらかの組み合わせにすること)を選択し、答えなさい。なお、選択した問題番号を解答欄に記すこと。

I. 教育社会学の研究において、エスノグラフィーという分析手法を用いることについて、具体例をもとに説明し、その可能性や問題について論じなさい。なるべく詳しく具体的に記すこと。(60点)

II. 次にあげる用語および人物から5つを選び、それぞれ説明しなさい。なお、選択した用語および人物については、それぞれ番号を記すこと。(40点)

- ① エトニー(A. D. スミス)
- ② 機械的連帯/有機的連帯(E. デュルケム)
- ③ ハンス・コーン
- ④ エコロジカル・フェミニズム
- ⑤ 規律訓練(M. フーコー)
- ⑥ 消極的自由/積極的自由(I. バーリン)

Ⅲ. 次にあげる2つのテーマのうち、1つのテーマを社会学的観点から研究する場合、どのように研究を行っていくか、具体的に述べなさい。その際、(1)関連する先行研究、(2)仮説、(3)研究方法、(4)研究計画、(5)予想される研究成果等について、なるべく詳しく具体的に記すこと。なお、選択したテーマについて、番号を記すこと。(60点)

- ① 教員の長時間労働
- ② 子どもの貧困

Ⅳ. 次にあげる用語および人物から5つを選び、それぞれ説明しなさい。なお、選択した用語および人物については、それぞれ番号を記すこと。(40点)

- ① 因果関係
- ② 予言の自己成就
- ③ 新自由主義
- ④ エビデンス・ベースト・ポリシー
- ⑤ R. K. マートン
- ⑥ 良き人生モデル(T. ウォード)

2023年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑨図書館情報学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑨ 図書館情報学

- I. 「図書館の自由に関する宣言」の1954年版と1979年改訂版の相違点は、図書館の思想と実践の両面からみて、どのような意味を有するのか論じなさい。(30点)
- II. 公立図書館の無料原則の意義について説明しなさい。(25点)
- III. 次の①から⑤のうちから3つを選び、それぞれの概要や特徴を説明した上で、それが図書館界に及ぼした影響を論じなさい。
(各15点、合計45点)
- ① 図書館員の問題調査研究委員会 (日本図書館協会)
 - ② 『子どもの図書館』 (石井桃子、1965年)
 - ③ 読書権
 - ④ Creative Commons
 - ⑤ The Library Company of Philadelphia

2023年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑩メディア文化学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑩ メディア文化学

次の2つの問題に答えなさい。

I. テレビ放送が子供と女性に及ぼした影響に関するメディア論の代表的著作を紹介し、その意義と残された課題を指摘なさい。(60点)

II. 以下の用語・概念・著作についてメディア論的に説明なさい。(40点)

a. third-person effect (W. P. Davison)

b. Penguin Books

c. Robert King Merton, *Mass Persuasion: The Social Psychology of a War Bond Drive*. 1946.

d. 「一億総白痴化」

2023年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑫教育政策学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑫教育政策学

I. 下記の資料は「『令和の日本型学校教育』の構築に向けた今後の方向性」に関するものである。これを読んで以下の問いに答えなさい。

(1) この資料に挙げられた方向性から1つ選択し、具体的な政策をとりあげて実現に向けた課題について論じなさい。(20点)

(2) (1)で示した課題に関する問い(仮説)を立て、実証に向けた研究計画を作成しなさい。(20点)

【資料】

(資料略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

資料は、『中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(答申)』

【総論解説】』4.「令和の日本型学校教育」の構築に向けた今後の方向性改革に向けた6つの方向性を抜粋して掲載している。

II. 教育における多様性（ダイバーシティ）の推進に関する1または複数の具体的政策（国内外を問わない）をあげて、その期待される効果と課題について論じなさい。（30点）

III. 次の用語の中から3つを選んで説明しなさい。（30点）

- ① こども家庭庁
- ② （行政活動の）非権力的作用
- ③ （教員の）勤務管理
- ④ 総合教育会議
- ⑤ 日本語教育の参照枠
- ⑥ 教育DX

2023年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑬文化政策学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑬文化政策学

I. 次の八つの事項または人物のなかから四つを選び、それぞれについて説明しなさい。

解答にあたっては、選択した番号を必ず最初に記すこと。 (32点)

- ① 大学献言
- ② 文化芸術基本法
- ③ ジャパン・ツーリスト・ビューロー
- ④ ガリオア・プログラム
- ⑤ ゴットフリード・ワグネル (Gottfried Wagener)
- ⑥ 上田万年
- ⑦ 国立民族学博物館
- ⑧ 日本国際漫画賞

II. 今日、文化財/文化遺産保護政策の国際化（国際的な協力が進むと同時に、国際機関等が打ち出す方向性が重視され、国内政策にも影響を与える傾向の増大）が顕著になっている。無形文化遺産を中心にその経緯と現状を説明したうえで、国際化の積極的な意味合いと問題点の双方について論じなさい。

(34点)

III. 明治維新以降、今日までに日本で開催された、展示を主とする催事（博覧会、美術展など、いかなる種類のものでも可）を一つ取り上げ、文化政策の観点からその歴史的な位置づけを論じなさい。

取り上げる催事は、名称、開催時期、開催地などから、十分特定できるようにすること。必要に応じて他の催事にも言及してよい。

なお、その催事が行われた時代に「文化政策」の語が一般に使用されていたかどうかは問わないものとする。 (34点)

2023年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑮ 高等教育学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆に
して続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑮ 高等教育学

I. 中央教育審議会の答申「新たな時代を見据えた質保証システムの改善・充実について」では、「質保証システムの改善・充実の方向性」として、(1)「学修者本位の大学教育の実現」、(2)「社会に開かれた質保証の実現」という2つの検討方針と、①「客観性の確保」、②「透明性の向上」、③「先導性・先進性の確保（柔軟性の向上）」、④「厳格性の担保」という4つの視座が示されている。この2つの検討方針において、この4つの視座がなぜ重要なのかを説明し、あなたの見解を論じなさい。(55点)

II. 次の用語を説明しなさい。(各15点)

- ①アクションリサーチ
- ②遠隔授業と面接（対面）授業
- ③大学設置基準